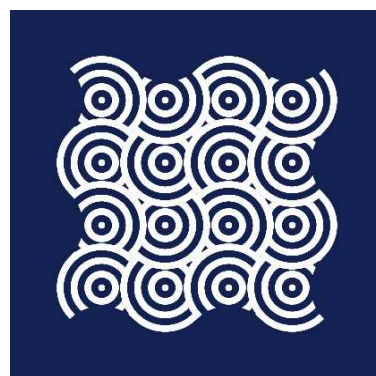


徳島発の政策提言

2020年 東京オリンピック・
パラリンピック・**レガシー創出**

に向けて

～日本の**新未来**を創造～



平成30年1月

 徳 島 県

項 目 名	ページ
東京オリパラ開閉会式等における「阿波おどり」の演舞について	1
協議会場、選手村等での「徳島県産品」の積極活用について	3
「ホストタウンにおける特徴ある取組み」への支援について	5

東京オリパラ開閉会式等における「阿波おどり」の演舞について

主管省庁（内閣官房，内閣府，国土交通省観光庁）

【現状と課題】

直面する課題

- 次世代に誇れる「有形・無形の遺産（レガシー）」を全国に創出し、日本が持つ力を世界に発信
- 大会はスポーツの祭典のみならず文化の祭典でもあり、日本文化の魅力を世界に発信することで、地方創生、地域活性化を推進
- 日本文化の魅力を発信と連動しつつ、訪日プロモーションを推進し、外国人旅行者を地方へ誘客するための施策により、大会の開催効果を東京のみならず、広く地方に波及



「阿波おどり」発祥の地・徳島！



- 400有余年の歴史を持つ「阿波おどり」は、戦後、平和の象徴として特に発展しており、近年では海外へのおどり連の派遣やWEB・SNS等を通じて世界各国へ強力に情報発信

- 観光庁「DISCOVER the SPIRIT of JAPAN」でのメインPR映像には世界最高の祭りとして『阿波おどり』から楽しく情熱的な「日本人」を紹介

- 年齢、障がいの有無に関わらず活動している「ねたきりになら連」、在住外国人による「あらそわ連」誰でも自由に飛び入り参加できる「にわか連」も大盛況



- 「阿波おどり」は、発祥の地・徳島以外にも全国約200もの連(グループ)が精力的に活動する、日本を代表する伝統文化

【政権与党の政策方針】

《平成30年度国予算の内容》

- ◇ 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局
・ 推進本部の運営及び大会成功に向けた取組の推進・総合調整 576百万円

《2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針》（P2, 1 P9, 4(2)）

- ◇ 「復興五輪」・日本全体の祭典
・ 外国人観光客の地方への誘客拡大による地域活性化
- ◇ 有益な遺産（レガシー）の創出
・ 次世代に誇れる遺産（レガシー）を創出
- ◇ 日本文化の魅力を発信
・ 祭りなど、多様な日本文化の魅力を世界に発信

《自由民主党 総合政策集2017 J-ファイル》（P29, No.108 P81, No.346）

- ◇ 2020年オリンピック・パラリンピックの東京大会の成功とレガシーの創出
・ オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを全国に波及
- ◇ 世界に誇るべき「文化芸術立国」の創出
・ 文化の祭典としても位置付け、世界の人々を魅了する機会を創出

県担当課名 観光政策課，国際課
関係法令等 平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法

【課題解決への方向性と処方箋】

方向性（処方箋）

- 世界各国が注目する東京オリンピック・パラリンピックの開閉会式等における「阿波おどり」の演舞を通じ、その魅力を世界へ発信する。
- 「手を上げて、足を運べば阿波おどり」と表現されるほど、初めて見る者や外国人に分かりやすく、「見る阿呆（感じる）」「踊る阿呆（体験）」のいずれでも気軽に楽しめ、国境を超えて、その場にいる者の一体感を生み出すことができる数少ない文化である。

日本が世界に誇る～阿波おどり～



日本文化を強力にアピール！



inドイツ・ニーダーザクセン州



にわか連



inロシア・モスクワ(赤の広場)



あらそわ連



ねたきりになら連

2020東京オリパラ・レガシー創出に向けて

【徳島発の政策提言】

具体的内容

提言 「東京オリンピック・パラリンピック」の開閉会式等に『阿波おどり』演舞機会の創出

- ① 「beyond2020プログラム」の中でも、特に日本を代表する伝統文化として「阿波おどり」を東京オリパラ開閉会式等で演舞できる機会を創出すること。
- ② その際は、「阿波おどり」はじめ日本を代表する「伝統文化・芸能」を取り入れ、日本文化を大々的に発信すること。

将来像

「東京オリパラ」を契機に徳島を訪ねる外国人が増加

競技会場，選手村等での「徳島県産品」の積極活用について

主管省庁（内閣官房，内閣府）

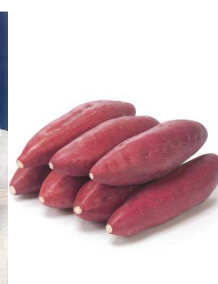
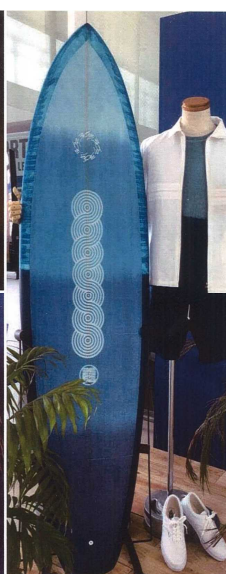
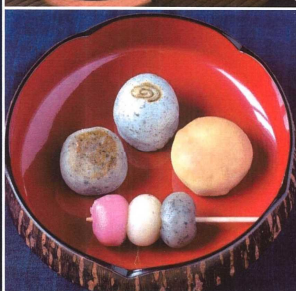
【現状と課題】

直面する課題

- 東京オリパラは、スポーツの祭典のみならず**文化の祭典**でもあり、徳島県の「**藍関連製品**」をはじめ、地域に根ざした多様な**日本文化の魅力**を世界へ発信する**千載一遇のチャンス**
- 徳島県には、すだち、なると金時、阿波尾鶏、鳴門わかめをはじめとする**農畜水産物が豊富に存在**しており、昨年3月に公表された「**食材調達基準**」を満たす「**GAP**」の取得を関係者が一丸となって推進
- 東京オリパラでは、世界の注目が日本に集まる機会を活かし、「**復興五輪**」として、東日本大震災からの復興を後押し



すだち



なると金時



阿波尾鶏



鳴門わかめ

【政権与党の政策方針】

《平成30年度国予算の内容》

- ◇ 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局
 - ・ 推進本部の運営及び大会成功に向けた取組の推進・総合調整 576百万円

《2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針》（P2, 1 P9, 4(2)）

- ◇ 「復興五輪」・日本全体の祭典
 - ・ 「復興五輪」として、被災地が復興を成し遂げつつある姿を世界に発信
- ◇ 日本文化の魅力の発信
 - ・ 食文化、伝統工芸品など多様な日本文化の魅力を世界に発信

《自由民主党 総合政策集2017 J-ファイル》（P29, No.108 P30, No.110）

- ◇ 2020年オリンピック・パラリンピックの東京大会の成功とレガシーの創出
- ◇ 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした農林水産業の発展

県担当課名 もうかるブランド推進課，観光政策課，林業戦略課新次元プロジェクト推進室
 関係法令等 平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法

【課題解決への方向性と処方箋】

方向性（処方箋）

- 国内外の関係者が集う**競技会場**や**選手村等**においては、東日本大震災の被災地をはじめ、全国各地の**農畜水産物**や**伝統工芸品等**を積極的に活用し、その**価値や魅力**を**世界へ発信**する必要がある。

徳島県内の動き

- 昨年11月、東京オリ・パラへの食材供給や、キャンプ誘致に繋がる取組みを通じ、**県産農畜水産物を世界に向けてアピール**するため、産学官連携による「東京オリ・パラ『阿波ふうど』でおもてなし協議会」を設立！
- 公式エンブレムに藍色の「組市松紋」が採用されたことを機に、**藍産業の活性化に向けた動きが加速！**
- 県では、7月24日を「とくしま藍の日」に、「藍色」を「徳島県の色」に制定するとともに、野老朝雄氏にデザインいただいた「藍とくしまロゴマーク」や「組合せデザイン 組藍海波紋」などを活用し、「藍と言えば徳島」を強力にアピール！

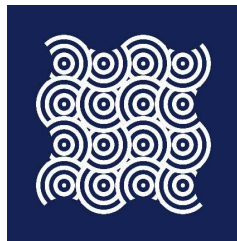
メダル：都市鉱山からつくる！

みんなのメダルプロジェクト

リボン：「復興支援」と「伝統工芸の結集」



藍とくしまロゴマーク



組合せデザイン



阿波藍による染糸



2020東京オリパラ・レガシー創出に向けて

【徳島発の政策提言】

具体的内容

提言 競技会場、選手村等での「徳島県産品」の積極活用

- ① 食材調達基準を満たす「農畜水産物」はもとより、「藍染のメダルリボン」や「県産材を使用した藍染板」など、伝統や「匠の技」に裏打ちされた「徳島県産品」を**競技会場、選手村等**で積極的に活用すること。
- ② なお、「メダルリボン」については、例えば、宮城の綿糸や群馬の生糸を「阿波藍」で染め、京都の西陣織で織り上げるなど、**東日本大震災からの復興**を後押しし、日本の伝統と技を**結集**したものとする。

将来像

「東京オリパラ」を契機に「徳島県産品」の販路が拡大

「ホストタウンにおける特徴ある取組み」への支援 について

主管省庁（内閣官房，内閣府）

【現状と課題】

直面する課題

- 全国のホストタウンではそれぞれの強みを活かした**特徴あるホストタウンの計画**を策定し、**対象国との交流事業をさらに活発化**
- **徳島県**では友好交流提携10周年を迎えるニーダーザクセン州が属す**ドイツ**を対象に、本県の強みである「食」や「農山漁村交流」を核とした**交流事業**を計画
- **徳島商業高校**ではJICA草の根技術協力事業により、**カンボジア-日本友好学園**と**カンボジア特産品**を利用した**共同商品開発プロジェクト**を実施
- 全国のホストタウンが進める交流を**大会後のレガシーとして継承**するため、**2020年以降のホストタウンの取組みに対する支援**が重要

「ホストタウンにおける特徴ある取組」に関する徳島県の「強み」

ドイツ・ニーダーザクセン州 「友好交流提携10周年」

ホストタウン(ドイツ):2016.1.26登録



カンボジア-日本友好学園 「徳島商業高校との交流」

ホストタウン(カンボジア):2017.12.11登録



共同商品開発による
フェアトレードの推進

徳島での 友好学園の交流	カンボジアでの 徳商生の交流
<ul style="list-style-type: none"> ・開発した商品の販売・PR等 ・県内高校生・県民との文化交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・友好学園との共同商品開発、PR等 ・地方の中学生との文化交流等



にし阿波地域の傾斜地農業 「日本農業遺産」



徳島県が持つ「交流資源」を存分に発揮する計画を策定

【政権与党の政策方針】

《平成30年度国予算の内容》

- ◇ 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局
・ 推進本部の運営及び大会成功に向けた取組の推進・総合調整 576百万円

《ニッポン一億総活躍プラン》(P18)

- ◇ 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた見える化プロジェクト

《未来投資戦略2017》(P149)

- ◇ 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会も契機として、
国際水準のGAP（農業生産工程管理）の実施及び認証取得の拡大を推進する。

《自由民主党 総合政策集2017 J-ファイル》(P29, No.108 P30, No.110)

- ◇ 2020年オリンピック・パラリンピックの東京大会の成功とレガシーの創出
- ◇ 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした農林水産業の発展

県担当課名 国際スポーツ大会室，国際課，もうかるブランド推進課，畜産振興課
水産振興課，農山漁村振興課，学校教育課

関係法令等 平成32年東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会特別措置法

【課題解決への方向性と処方箋】

方向性（処方箋）

- ホストタウン計画に基づく取組みを「キャンプ誘致」や「本大会への食材供給」などに繋げる仕掛けが必要である。
- 徳島県では「食」や「農山漁村文化」を活用した「食のおもてなし」をテーマに交流事業を加速することとしており、こうした取組みを世界へ広く発信し、農山漁村の活性化を図る必要がある。
- ホストタウンで培われた対象国との交流関係を大会後のレガシーに繋げるため、2020年以降を見据えた事業展開が必要である。



徳島県が計画する「食」をテーマにした交流活動
推進組織として「東京オリ・パラ『阿波ふうど』でおもてなし協議会」を設立



有機栽培

ゆず

H29.9
「木頭ゆず」
GI登録



農福連携による

フルーツトマト

コウノトリと共生



レンコン

オリパラ対応食材の供給



料理交流会の開催

地鶏日本一 阿波尾鶏



そば米など郷土料理

食材を100%にアレンジ

特徴あるメニューの
開発及び提供



古民家でリラックス

「文化」と「食」
の交流

「日本の原風景」
を堪能

農山漁村での
余暇・交流

徳島ならではの「食のおもてなし」を世界へ！

2020東京オリパラ・レガシー創出に向けて

【徳島発の政策提言】

具体的内容

提言 「ホストタウンにおける特徴ある取組み」への支援

- ① 徳島県の「食のおもてなし」をはじめ、全国のホストタウンで展開される「特徴ある取組み」について、国主催のイベントや、飲食関係スポンサーへの情報提供等を通じ、広く国内外へPRすること。
- ② ホストタウン推進のための地方財政措置について、2020年以降に大会後のレガシーとして実施される交流事業等についても、継続的な措置を講ずること。

将来像

「東京オリパラ」を契機に
「徳島の農山漁村」の活性化・「ホストタウン交流」の継続

次世代に誇れるしガシー創出を
徳島から全国に発信！

